

令和5年度「こどもの事故防止週間」広報啓発について

令和5年7月13日

こどもの事故防止に関する関係府省庁連絡会議決定

こども家庭庁、警察庁、消費者庁、総務省消防庁、文部科学省
厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁

1. 令和5年度「こどもの事故防止週間」について

我が国では、窒息や溺水、転落を始めとする事故等によって、14歳以下のこどもが毎年200人ほど亡くなっている。それに加え、死亡にまで至らない様々なこどもの事故が発生している。こうしたこどもの事故を防止するためには、関係府省庁が連携し、総合的に取り組む必要がある。そこで、平成28年6月に「子供の事故防止に関する関係府省庁連絡会議」を設置した。

本会議における令和5年度の取組として、令和5年度「こどもの事故防止週間」を、令和5年7月17日～23日にかけて実施する。今年度は、「こどもの取り残し、置き去りによる事故の防止」をテーマに、車内等への置き去りからこどもの身を守るための留意点等について、保護者や送迎バスを運行する施設等の意識向上を促すことを中心に、広報啓発を行うこととした。

2. 広報啓発の取組

本年度の取組として以下の取組を実施し、関係府省庁間の連携を強化し、こどもの事故防止に向けた取組を推進する。

(1) こども家庭庁 Twitter による普及啓発

Twitterにより、こどもの事故予防に向けた留意点を情報発信することにより、幅広くより多くの国民の意識向上を促す。事故防止期間中の官庁営業日である4日間（7月18日～7月21日）を重点啓発期間として毎日ツイートを行う。（別紙1）

① 7月18日（火）

- ・ こどもの乗車に際しての鍵の管理
- ・ 水難事故防止のための行動

② 7月19日（水）

- ・ 送迎用バス運行における基本
- ・ 日差しで熱したものによる火傷への注意喚起。

③ 7月20日（木）

- ・ 夏場の車内の温度上昇への注意喚起
- ・ 送迎用バス運行施設における安全管理の機運

④ 7月21日（金）

- ・ 熱中症予防のための行動

（2）関係省庁の Twitter による情報発信とリツイート

令和5年度こどもの事故防止週間のテーマである「こどもの取り残し、置き去りによる事故の防止」に限らず、関係省庁の所掌事務に関連する、こどもの事故防止に係る取組を積極的に情報発信する。こども家庭庁において当該発信についてリツイートし、当該取組の普及啓発を促す。（別紙2）

<取組>

- ・ 海水浴の際の留意点（海上保安庁）：7月21日（金）発信予定。こども家庭庁より同日リツイート予定。

※その他、関係省庁で、「こどもの事故防止週間」について Twitter による紹介を行うことや（1）による普及啓発をリツイートすることを検討することとなった。

（3）その他実施済の取組

こども家庭庁において、令和5年度「こどもの事故防止週間」ポスターを各都道府県、東京メトロ駅各管区、JR 東日本管轄駅に送付。

①7月18日（火）**・ こどもの乗車に際しての鍵の管理**

車にこどもを乗せて運転するみなさまへ、車内での#熱中症 にご注意

7月17日から23日は#こどもの事故防止週間 です。

こどもが車の鍵を持って離さず、車の中に閉じ込められた状態になった事例があります。

車の鍵は保護者が必ず管理し、こどもだけが車内に残る状況を作らないようにしましょう。

・ 水難事故防止のための行動

水難事故を防止しましょう！

学校の夏休み期間には、河川等に多くの人が集まるため、水難事故の発生が懸念されます。

出かける時には天気や河川等の情報を確認するとともに、危険が予想される際には早めに避難する等の行動をお願いします。また、河川管理者等の指示には必ず従ってください。

②7月19日（水）**・ 送迎用バス運行における基本**

【こどもの送迎用バス運行に関わるみなさまへ】

- 乗降時の点呼・目視等による所在確認
- 見落としがないか、車内の見回り・確認
- 安全装置の活用

これらは送迎用バス運行の「基本のき」です。

一人ひとりの意識が幼い命を守ります。

▼マニュアルはこちら

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/9ffe9295-16c4-4a2e-b48a-5318bbcde25f/9dbc5d49/20230607_policies_child-safety_effort_anzen_kanri_03.pdf

・ 日差しで熱したものによる火傷への注意喚起

公園の遊具や、車のシートベルト等にある金属部分、砂や舗装道路など、日差しで熱したモノに触れて「火傷」しそうになった経験はありませんか？こどもは大人に比べて皮膚が薄く、体表面積も小さいため、火傷の重症度が高くなりがちです。

日差しが強いときは、火傷も、熱中症も、気をつけましょう！

③ 7月20日（木）

・夏場の車内の温度上昇への注意喚起

【車内での熱中症に注意！】

夏場の車内は短時間で温度が上昇します。

降ろし忘れや、キーの置き忘れ・誤操作や誤作動によりロックされるトラブルも発生しています。

ほんの少しであっても車内に子どもを残すことがないようにしましょう！

消費者庁「子ども安全メール」→

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/project_01/mail/20230508/

・送迎用バス運行施設における安全管理の機運

#送迎用バス を運行するみなさまへ、安全管理に関する機運を高める

7月17日から23日は#こどもの事故防止週間 です。

安全や信頼は日々の積み重ねで築かれます。職員間でヒヤリ・ハット事例の確認や、身近に起きたハプニング等の報告がしやすい雰囲気づくりに取り組む等、事故防止に努めましょう。

④ 7月21日（金）

・熱中症予防のための行動

熱中症事故を予防しましょう！

熱中症は「からだ」「環境」「行動」が関係して発生します。死に至ることもありますが、正しく対応すれば防ぐことができます。

適度な水分補給・休憩、車内への置き去り防止の徹底等をお願いします。

関連情報は下記動画でも発信しています。

<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/news/2023-07/data/nettyusyou.mp4>

○7月21日（金）：海水浴の際の留意点

【海で遊ぶ方へ】

#夏休み に家族で海にお出かけを予定されている方へのお願いです。毎年、子供の遊泳中の事故が多く発生しています。保護者の方は子供から絶対に目を離さず、事故のないよう海水浴を楽しみましょう。

#海上保安庁 #こどもの事故防止週間 #こども家庭庁

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/swimming/index.html>